



全学年の学習指導本時案

第4学年 総合的な学習の時間学習指導本時案

「盆踊り大会盛り上げ隊！～地域の人といっしょに～」

小単元③ 全35時間中の第20時

対 象：第4学年 72名

指導者：

(1) 本時の目標

他チームと進捗状況について共有し合うことを通して、フェスティバルをより良くするポイントや方法を見付けることができる。

(2) 子どもの姿・手だて・期待する変容

前時までの子どもの姿	本時の目標に対する手だて	期待する変容
1、2学期の探究学習を通して盆踊り大会を更に盛り上げたいという思いを高め、来年度の盆踊り大会を中神小で実施する目標に掲げた。盆踊り大会の理想や、実際にできそうなことについて話し合い、盆踊り大会でやろうとしていることの一部を校内でやってみるという「中神フェスティバル（仮）」を2月に実施することを決めた。フェスティバルの実施に向けて、自分たちにできることを考えて取り組んでいる。	- ジグソー法を取り入れ、それぞれのチームが所属するような共有グループをつくることで、グループ内で各チームの進捗状況を共有したり、フェスティバルの全体像を捉えたりすることができるようにする。 - フェスティバルには、お年寄りや小さな子ども、子育て中の方など様々な立場の方が来ることを想定し、多様な立場から考えることで、新たな課題を見付けたり、より良くする方法を考えたりできるようにする。	- 自分とは異なる役割の子どもたちと進捗状況を確認し合うことで、フェスティバルの全体像を捉えたり互いに頑張っていることを認め合ったりでき、フェスティバル実施に向けたわくわくした気持ちを更に高める。 - 自分とは異なる役割の子どもたちに話を聞いてもらう場を設けることで、今までとは異なる視点からアドバイスをもらい、より良くするポイントや方法を見付ける。

(3) 本時展開

学習過程	学習活動 ・予想される子どもの活動と反応	◎手だて ●評価
課題の把握 (1分)	互いの進捗状況を報告し合い、フェスティバルをより良くするポイントや方法を見付けよう。	
めあて (2分)	1 めあての確認をする。 「今日のめあてはどうしますか？」 ・前回の振り返りとNEXTを確認する。	◎これまでの学びの軌跡が分かるような掲示をしておくことで、これまでの思考をつながながら、学習の流れとともにその時々気持ちを想起できるようにする。
見通し (2分)	2 学習の流れを決める。 「今日の流れと時間はどうしますか？」 ①共有グループで報告・相談し合う。 ②みんなで共有する。 「この授業は、何がきたら○ですか。」 ・他の役割での内容が理解できたら○ ・より良くするポイントや方法を見付けることができたなら◎	◎めあてを立てる際は、児童の言葉で作り上げることで、自分たちで探究学習を進めているようにファシリテートする。 ◎本時の流れを児童と決定し、ホワイトボードに書いて、見通しをもてるようにする。 ◎時間配分を児童と確認することで、活動中の時間の感覚をもたせるようにする。
学び合い① (20分)	3 役割ごとに、進捗状況を報告し合ったり、相談し合ったりする。 ・屋台チームでは、○○を作って準備しているよ。お客さんを待たせないように、○○な工夫をしているよ。 ・小さい子たちも楽しめるように、○○をするといいんじゃないかな。 ・受付では、お客さんが行動しやすいように、会場案内図を作っているよ。 ・イラストを入れると、もっと見やすくなりそう。	◎「地域の人たちと一緒に楽しむ」という、フェスティバルの大きな目標を確認し、「地域の人たち」には様々な立場の人がいることを確認し、様々な立場になって話を聞いたりアドバイスしたりすることを伝える。 ◎「報告・相談タイム」をどのような流れで行うと良いかを活動の前に確認する。 ◎より良くするポイントや方法を見付けたらメモを取ったり、より良くするポイントを見付けることが難しいチームには「○○の立場だったらこれで分かるかな？」などと考える視点を与えたりする。(教師のファシリテート)

	・踊りチームでは、好きな曲のアンケートを取り、その曲を流す予定だよ。踊りを教える時間も作る予定だよ。	
学び合い② (7分)	4 全体で話し合ったことを共有する。 「どんな話が出ましたか？」 ・お年寄りや足の不自由な方のことを考えていなかったの、その方たちにも楽しんでもらう方法について、これから考えていきたいです。 ・「お店に並ぶ人がもっと楽しく待てるようにすると良い」というアドバイスをもらったので、チームのみんなと考えます。	◎子どもたちの気付きについて、話し合いの内容把握しておき、発言が苦手な子どもの考えも全体で共有できるようにする。
まとめ (2分)	5 話し合ったことをまとめる。 「今日のめあては達成できましたか？」 ・他のチームと共有して、フェスティバル全体の様子が良く分かった。 ・他のメンバーと話し合うことで、新たなポイントを見付けることができた。	◎他チームと共有することの良さや効果についてまとめることができるように発問する。 ◎フェスティバルという大きな催し物の実施に向けて、それぞれのチームがそれぞれの役割を果たそうと頑張っていることを実感できるようにする。
NEXT (1分)	6 次時への見通しをもつ。 「次回はどうしますか。」 ・今日の話し合いで出た意見をチームに伝え、より良くできるように準備を進めたい。	◎児童の思いを汲み取りながら、次時についての方向性を決定する。
振り返り (10分)	7 本時の学びについて振り返る。 「今日使った他教科の力は何かですか。」 「他チームと共有してみて感じたこと、気付いたこと、考えたことなどありますか。」	◎本時で活用した教科についても振り返ることで、資質・能力を結ぶようにする。 ●フェスティバルをより良くするポイントや方法を見付けたり、フェスティバルの実施に向けた気持ちをより高めたりしている。(ノート・発言)
次時	・今日の話し合いで出た意見をチームに伝え、より良くできるように準備を進めていく。	

【期待する振り返り】

私は屋台チームだけど、それぞれのチームで様々な工夫をしていて良いと思った。受付チームが作っている会場図のおかげで、屋台がたくさんあっても迷わずに屋台を回ることができると思う。遊び系の屋台と食べ物系の屋台がより分かりやすくなるように、食べ物屋さんのマークなどを入れると良いと思い、アドバイスできた。屋台では、お客さんがたくさん来てしまったときのために、「番号札を作る」という案や、待っている人のために少し椅子を用意するのはどうかという案が出た。チームに持ち帰り、お客さんが待つときの工夫についてもう一度考え、フェスティバルをより良くしていきたい。

(4) 板書計画

盆踊り大会盛り上げ隊！～地域の人といっしょに～

㊦ 互いの進捗状況を報告し合い、フェスティバルをより良くするポイントや方法を見付けよう

屋台チーム

- ・番号札◎
- ・楽しく待たせる工夫
- ・いすの用意

受付・案内(宣伝)チーム

- ・会場図→迷わない工夫◎
- ・会場図
- マークで分かりやすく

盆踊りチーム

- ・曲のアンケート◎
- ・踊りを教える時間◎
- ・見本を見せると良い

㊦ ・他のチームと共有 →フェスティバル全体の様子が良く分かった。
→新たなポイントを見付けることができた。

NEXT

今日出た意見をチームに伝え、より良くしていく！